

氏名 : サトリヨ バハリ

タイトル : 故郷の誇り



私の故郷はインドネシアのジャワ島のジェンベルと言う街です。ジェンベルと言えば農業です。ジェンベルの熱帯気候で平均年間の気温は32度のことがわかりました。ジェンベルが暑くて、乾いたことからジェンベルの南区にある農業は困難になりました。伝統



的な農業は干害に備えて、農家達は「ケンディ」と呼ばれている粘土から作られている水容器を植物の近くに蓋だけが見えるまで埋めました。粘土材で植物は容器にある水を長時間で吸えて、農家

達は節水もできました。現代、ケンディに代わり南区に大きい貯水槽を用意して、水が多いところから水を配っています。

ジェンベルの南区はインド洋に向いていることから、「パプマ」と言う有名で美しい海岸があります。ジェンベルの町役場を中心に「ジェンベル・ファッション・カルナバル (JFC)」や「ラバコ踊り」等のイベントを毎年8月に行われます。動物や植物のような面白いコスチュームを着て、町役場と武道館の間にある道に沿って歩いて、踊ります。とても面白くて、外国人もよく見に来ます。



一部の人に熱帯気候は嫌かもしれませんが、熱帯気候のお陰でジェンベルは様々な農業の種類ができています。ジェンベルに最長歴史農業はタバコ農業で、1850年の前に



タバコ農業もう始まったようです。タバコ農業はホルンダーの植民地時代から作られたことから、「Besuki Na Oogst (NB0)」というホルンダー語でタバコ種類の名前ができています。その時はインドネシアの名前はまだできていなくて、「ヒンデ

「ニア・ホルンダー」という名前でしたが、ジェンベルの名前は昔からができていました。インドネシアでジェンベルのタバコ葉は1番目ですが、世界中でキューバのタバコ葉に負けて2番目になりました。ジェンベルのタバコ葉は一流名産品



で葉巻のラッパー素材として使ったり、欧州に輸出したりしています。ジェンベルのタバコ葉が有名で「バティック・ジェンベル」の模様として描かれています。

ジェンベルのお土産は「タパイ」をはじめ、様々なお土産を売られています。タパイはキャサバや特別なお米などから作られている飲食物です。タパイの味は甘酒のような



味が甘くて、美味しくて、少しいアルコールが残っていますが、酔っぱらい原因がないので、ハラル飲食物の種類です。



不思議ですよ。タパイから作られているケーキやお菓子などがある

ります。「アイス・タパイ」は日本のかき氷に負けそうにないですよ。写真を見ているだけ



で喉が渴いたかもしれませんね。それに、ジェンベルでは国内植物だけでなく、また気候のお陰で日本の植物、枝豆もよく育てます。ジャカルタにある日本人コミュニティに冷凍状で

よく配達しています。料理方法は茹でるだけでなく揚げる枝豆も作っています。しかし、低脂肪を守る為に真空揚げで枝豆を揚げたり、



オーブンで焼いたりしています。それも超美味しいですよ。皆さん、もし機会があればぜひ私の故郷に遊びに着てくださいね。ジェンベルでいい思い出を作りましょう！